

“コロナ禍後の一日でも早い安心した生活を期待！！”

支部長 松木 茂夫

緊急事態宣言が10月1日に解除されましたが、会員の皆様いかがお過ごしでしょうか。世の中は少しずつ動き出しましたが、まだ日本全体がコロナ恐怖の呪縛に縛られており、通常の生活に戻るには当分先になるかなと思われまます。

感染拡大防止策の徹底と社会経済活動の両立が叫ばれている中、ウイズ・コロナ時代への新しい生き方を模索している政府と企業、そして、我々一人一人がコロナ禍と向き合いながら行動していくことが益々必要となってきました。

ウイルスそのものが収束するわけではないため「三つの密」を避け、感染症対策分働会が明示した感染が広がりやすい「高リスクの5場面」を守りつつ、感染するリスクの軽減に心掛けていきたいと思ひます

年末懇親会昨年引き続き中止を決定！！

さて、恒例となっている12月11日（土）第二土曜日開催予定の年末懇親会は、役員会に於いて検討した結果、冬季に向かって第6波も懸念され、またインフルエンザの猛威も予想されている状況下、大人数での飲食を伴う宴会等は、安全面で不安があり、会員皆様が楽しく・安心して参加できる状況にないと判断して、誠に残念ですが開催を中止することと致しました。

支部活動は会報発行・HP掲載のみ！！

昨年引続き、今年の支部活動は役員会・各種行事等の支部活動を全て中止としました。参加者の安全と安心を最優先で考へての苦渋の決断でした。役員会は原則メール・Fax等対面を避けての実施でした。

会報発行は2020年6月（第30号）・2020年11月（第31号）・2021年6月（第32号）・2021年11月発行予定（第33号）・HPの随時メンテナンス等を実施しました。

会報発行に際し、森山功相談役には会報の構成・印刷を岩淵義昭事務局長には発送作業をお願いし、ご苦勞をおかけしましたが無事皆様方にお届けすることが出来ました。

引続き、会員皆様方の積極的な原稿の寄稿をお願い致します。大石克義副幹事長にはH掲載等ご協力を御礼申し上げます。

尚、決算状況は会報に関連する費用の支出が中心となります。

箱根駅伝立川予選会第2位で通過・本戦出場へ！！

(昨年に引き続きテレビ観戦で応援！！)

第98回箱根駅伝は10月23日（土）（東京箱根間往復大學駅伝競走）強風の中、陸上自衛隊立川駐屯内を周回するハーフマラソンのコースで41校が参加して行われた。各校10

人の合計タイムで上位 10 校が予選を通過した。(無観客で実施)

中大は順当に第 2 位で通過 (10 : 37 : 38)、2 年生エース吉居大和選手の粘り強い走りがチームを引っ張った。(終盤両ふくらはぎに痙攣があったが)

来年 1 月 2 日・3 日の沿道での応援は 関東学連からの自粛要請があり、残念ながら本年同様 テレビ観戦で応援しましょう。

ご参考

(1) 第 98 回予選会総合成績上位 10 校 (時 : 分 : 秒)

- ①明大 (10 : 33 : 22) ②中大 (10 : 37 : 38) ③日体大 (10 : 39 : 32)
④山梨学院大 (10 : 41 : 15) ⑤神奈川大 (10 : 41 : 57) ⑥法大 (10 : 42 : 12)
⑦中央学院大 (10 : 43 : 08) ⑧駿河台大 (10 : 44 : 47) ⑨専大 (10 : 44 : 58)
⑩国士舘大 (10 : 45 : 41)

(2) シード校 (前回第 97 回総合成績順)

- ①駒大②創価大③東洋大④青学大⑤東海大⑥早大⑦順大⑧帝京大⑨国学院大
⑩東京国際大

第 30 回ホームカミングデーオンラインで開催！！

毎年開催されているホームカミングデーは、初めてのオンライン開催を基本として 2021 年 11 月 21 日 (日) に開催予定であります。企画の概要については学員時報第 516 号・大学公式 Web を参照願います。

2022 年度の活動予定について

収束状況が不透明な中、来年度以降の役員会・総会・懇親会・各種行事等は参加者の安心・安全を考慮し慎重に検討していきたいと考えています。

活動計画 (2022/1 月～12 月)

- ①箱根駅伝テレビ観戦応援 (1/2・1/3) ②総会・学術講演会・懇親会 (6/11 (土) 第 2 土曜日/精養軒) ③年末懇親会 (12/10 (土) 第二土曜日/精養軒) ③ハイキング等の各種行事
④県内各支部・白門会との交流懇親会等々・・・)

お会いできる日を楽しみにしています！！

幸いなことに当支部会員から新型コロナウイルスに感染されたとの報告はありませんが、見えないウイルスとの闘い油断は禁物です。

国産で供給に不安のない安全で安心な飲み薬等の治療薬やワクチンが普及しコロナが収束することを心から期待したいと思います。また、新しい生活様式の定着の為、私達自身に大胆な意識改革も必要となりました。

自粛生活もそろそろ 2 年なりますが、今年はインフルエンザの猛威も予想されており体調を崩さないように十二分に健康にご留意され、元気でお会いできる日を楽しみにしております。

以上